

薬連ハイライト

本田あきこの活動報告 in 熊本

日本薬剤師連盟の本田あきこ副会長は、本年1月より全国の連盟支部を訪問する活動を続けている。7月までに、東京、関東、中国、大阪、近畿、東海ブロックを訪問し、8月は原則として地元熊本で活動した。熊本県では、薬局の訪問のみならず、地域住民と会い、地元の声を直に聞くとともに、薬剤師が社会にどのように貢献できるかをお伝えする多くの機会を得た。

また、熊本にある14市31町村のうち、14市30町村を訪問し、首長、議長らに挨拶を行い、地方行政における薬剤師職能に対する一層の理解を求めた。



8月4日(土)には、自民党熊本県連の女性局・青年局合同で、西日本豪雨災害の募金活動が行われ、本田あきこ副会長も、女性局の一員として統一のピンクのポロシャツを着て参加した。この活動は、熊本地震の際にいただいたご恩に対するお返しという趣旨で行われたものであり、自民党熊本県連の幹事長等も激励に訪れたとのことである。



9月からは、北海道より全国訪問の旅を再開し、東北、北陸信越、九州、四国ブロックと、来年3月までの活動が予定されている。多くの方々からご支援いただくよう、活動をより活発にしていきたい。

もとゆき便り

平成31年度予算概算要求

自由民主党組織運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

平成31年度予算の概算要求は、8月末に各省庁から財務省に提出されました。一般会計の要求総額は、102兆円を超え過去最高額となり、5年連続の100兆円超えとなりました。厚生労働省の一般会計要求総額は、前年度当初予算に比べて7,694億円(2.5%)増の31兆8,956億円、このうち医療・介護・年金等の社会保障に係わる経費は6,179億円(2.1%)増の29兆8,241億円と、いずれも過去最大規模となりました。また、高齢化に伴う増加額は、他省庁に係わる予算の減少額を含め、約6,000億円となっています。

薬剤師・薬局に関連するものでは、地域包括ケアシステムにおける薬剤師・薬局の専門性の向上と機能強化を図るため、薬局間・医療機関等との連携体制を構築するためのモデル事業等を実施する費用として223百万円、患者と医療機関、薬局をつなぐことのできる薬剤師を育成するモデル事業の実施に50百万円、保健医療情報ネットワークの本格稼働に合わせ、電子処方箋の普及・推進や電子お薬手帳の利活用を推進する事業に127百万円、全国統一の薬

局機能情報提供システムの設計・作成・運営に関する調査の実施に36百万円をそれぞれに新規要求しています。また、薬局・医療機関で働く薬剤師の不足している地域の都道府県に対し、薬剤師の不足状況の調査、就職説明会や復職支援の取組を支援する費用として、新規に107百万円を要求しています。



この他、薬局でのヒヤリ・ハット事例の収集、及び集積情報の分析・評価し、薬局における医療安全の確保を図るための事業については、本事業に参加する薬局数が大幅に増加し、報告件数が増加すると見込まれることから、前年度予算の2倍強となる35百万円を計上しています。

来年10月には消費税率の引き上げが予定されています。薬剤師・薬局に係わる事業費をはじめ、社会保障関連予算の満額確保に努めて参りたいと思います。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会(下記アドレス)までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@mfujii.jp